

令和7年度 第2回 浜松市立瑞穂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月3日（木） 13時30分～15時30分
- 2 開催場所 瑞穂小学校 会議室
- 3 出席委員 伊藤 雅文、佐々木 美香、村松 幸男、伊藤 文雄、渡邊 明日香、
河口 神奈、藤原 四郎、鈴木 里佳
- 4 欠席委員 石野 和彦、清水 淳子
- 5 学 校 戸嶋 秀樹（校長）、倉田 智幸（教頭）、徳井 雅子（主幹）、片山 里紗
（CS ディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 新村 竜馬
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 片山 里紗

9 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木里佳委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）授業参観の感想等
- （2）学校評価アンケートの項目の検討について
- （3）学校の教育活動について

11 会議記録

司会の教頭から委員総数10人のうち8人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、委員の方々には、授業の様子も参観していただいた。

（1）授業参観の感想等

議長の指示により、授業を参観していただいた様子を含め、委員の方からは以下の発言等があった。

- ◆子供と先生の連携、みんなの意見を聞くなど、子供たち一人一人が大切にされた授業が実施され、意欲的に取り組む姿が見られた。1クラス30人ほどであれば、先生とのやりとりに時間がとれるだろう。（伊藤会長）
- ◆楽しそうに授業を受けていた。1年生もしっかり着席をし、入学式時の様子と比べ、成長を感じた。（佐々木副会長）
- ◆6年生は一人一人考えが違い、自分が何をすべきなのかそれぞれ考えているように思う。「自分を大切にする」ということの大事さを感じた。（伊藤文雄委員）

- ◆友達同士相談をしたり、先生に聞きながら授業を進めていたりして、関係の良さが感じられた。(河口委員)
 - ◆どのクラスでも大きなモニターを使用しながら授業をしていて、とてもわかりやすかった。(渡邊委員)
 - ◆子供たちが集中して楽しんでいた。1つの作業が終わったら次の作業に移るという流れが身に付いていて、しっかりと学習していた。(鈴木里佳委員)
- ◇一人1台タブレットを使用し、授業の中で意見のやりとり、共有をしたりすることが瞬時にできるため、依然と比べ効率の良さが増している。子供たちが前向きに授業に取り組むためには、興味を持たせることが重要で、そのためにはどんな授業をしていけば良いのか、学年単位で取り組んでいる。(校長)

(2) 学校評価アンケートの項目の検討について

議長の指示により、主幹より資料に基づき毎年実施している学校評価アンケートについて説明がされた。その後アンケート項目について、委員から以下の発言があった。

- ◆委員に対するアンケート項目の中で、すべてのボランティアへ参加しているわけではないため、答えにくい項目がある。(伊藤会長)
- ◆保護者のアンケート項目が答えやすい内容に改善されている。(佐々木副会長)
- ◆子供たちが命の大切さについてどう思っているのかを知りたい。(伊藤文雄委員)
- ◆子供や保護者にとって、わかりやすい項目になっている。(渡邊委員)
- ◆低学年の子供が「きたえる」という言葉が理解できるのか。(鈴木里佳委員)

(3) 学校の教育活動について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、学校の教育活動についての説明があり、委員から以下の発言があった。

- ◆今の子供たちがどんな場面でどのように劣等感を感じるのか。人よりできないなどの劣等感を感じず、ありのままの姿で良いということ子供たちに教えることができれば、子供たちの安心感につながるのだろう。(伊藤会長)
- ◆自分の良いところだけを受け入れていくということは、偏ってしまうのかもしれない。できないところも含めたありのままを受け入れることができると良い。周りの大人がまず、受け止めてあげることが段階の一つになるのではないかと。(佐々木副会長)
- ◆アンケートの回答がすべてではないのだろう。(伊藤文雄委員)
- ◆不登校、登校渋りの現状だけでは、すべてが把握できないだろう。色々な役割をもった方が連携して対応していることがよく分かった。(村松委員)

- ◆自分の良さを知る上で、まわりの言葉が重要で、さらに増えると良い。(河口委員)
- ◆よいこと見つけカードは、子供にとっても嬉しい。得意不得意すべて含めて受け入れていけると良いだろう。(渡邊委員)
- ◆色々な家庭の事情もあると思われるため、不登校、登校渋りの現状の数値だけを鵜呑みにはできないだろう。(藤原委員)
- ◆様々な考えの家庭もあるが、毎日登校し、「頑張る」ということも大切なことであるため、まず、そういったことに対しての保護者の理解が必要なのではないか。(鈴木里佳委員)

◇勉強や運動ができるような目に見える項目だけでなく、挨拶ができたり、人に優しくできるというようなことの価値を高めていきたい。当たり前のことのできていることのすばらしさをもっと褒めてあげることが大事である。良いところも悪いところも受け入れる、そういった価値観を教えてあげられるような場面を考えていくことも必要だろう。(校長)

その他報告事項等

① 学校支援コーディネーターから

- ・藤原四郎学校支援コーディネーターより、各ボランティア活動の活動報告があった。

花の会では、ボランティアによる花の苗の植え付けをしていただいた。

総合の授業の中での体験活動について、各学年の先生や各方面のボランティアの方々と話を進めていく旨、報告があった。

- ・鈴木里佳学校支援コーディネーターより、各ボランティア活動の活動報告があった。

図書ボランティアでは、10月の読書週間にペープサートを実施するにあたり、ボランティアの方と打ち合わせをしていきたい。なお、引き続きボランティアが不足しているため、募集している旨の説明があった。

あわせて、クラブ活動についての報告があった。1回目のクラブ活動を終え、反省点を次に生かし、子供にとってもボランティアで参加していただく方にも、楽しかったと思ってもらえるようにしたいとの報告があった。

- ②司会の教頭より、次回の協議会は10月10日(金)13:30からCSルームで開催する旨説明があった。

以上